

不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成21年12月3日に不適合管理委員会で審議された不適合事象は、下記のとおりです。

区分 : 該当なし

区分 : 該当なし

区分 : 該当なし

その他 : 7 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	2号機	高圧炉心スプレイ補機冷却系サージタンク補給水ストレーナ差圧計において、指示不良(水の流れないのに差圧指示)が認められたため、当該計器を点検。	D	
2	3号機	化学管理報告書(中央制御室及び現場計器指示記録)のデータ作成時、原子炉水溶存酸素濃度記録計のデータを読み違えて記載したことが確認されたため、当該箇所を訂正。	D	
3	3号機	中性子計装系起動領域モニタ記録計において、インク切れによるデータ欠測が認められたため、当該記録計インク交換及び対応検討。	D	
4	4号機	取水設備スクリーン装置(F)において、塗装剥離(全体の60%程度)が認められたため、次回点検で全面塗装。	D	
5	4号機	タービン建屋地下1階南東コーナーに設置される空調ダクト風量測定口において、閉止栓蓋の一部脱落が認められたため、当該箇所を補修。	D	
6	12号廃棄物処理設備	洗濯廃液系消泡剤配管洗浄温水弁(空気作動弁)駆動用電磁弁点検時、フレキシブル電線管の破損が認められたため、当該電線管を交換。	D	
7	3.4号廃棄物処理設備	廃棄物処置建屋給気ファン(A)軸受け温度測定時、温度測定用照射温度計の保護キャップ(プラスチック製)が留め紐から外れ紛失したため、調査を含め対応検討。	D	

【凡例】

公表区分	事象の概要	主な具体例
区分	法律に基づく報告事象等の重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> ・計画外の原子炉の停止 ・発電所外への放射性物質の漏えい ・非常用炉心冷却系の作動 ・火災の発生 など
区分	運転保守管理上、重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> ・以下のうち、法律に基づく報告事象に該当しない軽度な場合 <ul style="list-style-type: none"> * 安全上重要な機器等の機能に支障を及ぼすおそれのある故障 * 管理区域内の放射性物質の漏えいが継続している場合 など ・原子炉への異物の混入 など
区分	運転保守管理情報の内、信頼性を確保する観点から速やかに詳細を公表する事象	<ul style="list-style-type: none"> ・計画外の原子炉または発電機出力の軽度な変化 ・原子炉の安全、運転に影響しない機器の故障 ・原子力発電設備に係わる機器に影響を及ぼす水の漏えい ・圧力抑制室等への異物の混入 ・原子力発電設備に係る業務における人の障害 など
その他	上記以外の不適合事象	<ul style="list-style-type: none"> ・日常小修理 など

【原子力発電所における不適合事象の是正管理】

原子力発電所では、設備の健全性を維持し、安全運転を継続するため、発電所設備の定期検査や運転中の巡視点検、定例試験、点検・修理等を行っております。その中で、「不適合」が発見された場合には、「不適合管理マニュアル」に基づき、必要な是正措置を講じることとしております。

* 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。

不適合管理グレード分け(不適合管理委員会にて決定)

- As :法令、安全協定に基づく報告事象
:プラントの性能、安全性に重大な影響を与える事象
- A :国、地方自治体等へ大きな影響を与える事象
:定期検査工程へ大きな影響を与える事象
- B :国の検査等で指摘を受けた事象
:運転監視の強化が必要な事象
- C :品質保証の要求事項に対する軽微な事象
- D :通常のメンテナンス範囲内の事象
- 対象外 :消耗品の交換等の事象

(お問い合わせ)

福島第二原子力発電所・広報部・行政広報グループ

電話 0240-30-7802